

# 酪農・肥育・和牛繁殖の乳肉複合一貫経営をされている

## ～滋賀県高島市朽木 宝牧場～にて

### 体外受精卵移植への取り組みについてお話をうかがいました！

みなさまこんにちは！今回は、安曇川が穏やかに流れ朽木の自然に恵まれた滋賀県高島市朽木にある宝牧場を訪問させていただきました。宝牧場では体外受精卵移植後、産まれた体外受精卵産子を肥育し、銘柄牛である近江牛として出荷されているという一貫肥育の特徴があります。



体外受精卵の取り組みについて、田原代表取締役と永吉繁殖部長にお話を伺いました。

#### ■宝牧場概要 (R3.10.3 現在)



創業は昭和 46 年。酪農・肥育・和牛繁殖の乳肉複合一貫経営。

【酪農部門】搾乳牛/274 頭、出荷乳量/7.5 t /日、平均産次数/2.8 産。

【肉牛部門】繁殖牛/約 200 頭。肥育部門、交雑種/約 500 頭、黒毛和種/約 800 頭。

自家産生乳を使用した乳製品の販売。

自家出荷牛での焼肉・精肉店を運営。

#### ■一問一答

##### Q. 体外受精卵移植の取り組み状況について教えてください

😊 A. 体外受精卵移植の取り組みを始めて十数年になります。毎月にとすると平均約 10 頭へ体外受精卵移植をしています。産まれた体外受精卵産子を肥育し、年間約 50 頭を出荷しています。



体外受精卵移植

##### Q. 受胎率について満足されていますか？

😊 A. 今年度は平均にとすると 40%はあるので満足しています。(今年度 8 月までの受胎率平均 40.5% : 17/42 頭 LIAJ 東海近畿事業所データ)

##### Q. 過大産子、分娩事故について教えてください

😊 A. 母体に影響するような過大産子は、年に 1 頭あるかないかです。年間約 120 頭への体外受精卵移植を行っていく中で、体外受精卵移植頭数が多ければ多い程、どうしても過大産子・分娩事故があって不思議ではないと受け止めています。そして、人工授精でも種雄牛によっては、稀にですが大きく産まれてくる交雑種もあり、過大産子はゼロになりません。このような事例もありますので、宝牧場では、過大産子への不安から体外受精卵移植の取り組みを止めるということは考えておりません。



一度に 14 頭の保定が可能な枠場。



バーレー内

Q 希望される種雄牛に「福之姫」がありますが、その理由を教えてください。

☹ A. 家畜改良事業団職員に勧められたことがきっかけでした。過去には美津百合も枝肉成績が良かったが、現在は福之姫も枝肉成績において好成績が出ている事が理由です。かねてより、出荷した福之姫産子は5等級の引きが強いと感じていましたが、10月29日に行われた全国肉用牛枝肉共励会において名誉賞を獲得したのも福之姫産子でしたね！

Q 過去に体外受精卵産子で最高の肥育成績を教えてください。

☹ A. 美津百合の体外受精卵産子で生体900kg前後、枝肉重量620kg、A5、BMS No.12が過去最高の肥育成績です。

Q 体外受精卵産子は一般の和牛と比べ、枝肉成績や販売結果に差はありますか？（近江牛比）

☹ A. はい。差があります。一般の和牛より体外受精卵産子の方が枝肉成績が良いです。これまで出荷してきた体外受精卵産子のA5等級率は80%。上物率で言ったら100%です。

Q 体外受精卵産子は肥育後「近江牛」として流通するにあたり、一般の和牛と取引上問題はないですか？

☹ A. 全く問題ないと感じています。

Q 今後も体外受精卵移植は継続しますか？

☹ A. 継続します！

■『うちの牛はうまい！』が『原動力』！

「宝牧場の肉が欲しい！」と言ってくれるお客様がもっと増えてくださることが夢です。自分のところで育てた牛を、そういったお客様に対して販売していきたい、その思いから、自家出荷牛での焼肉店(90名収容可)・精肉店の運営も始めました。現在、沢山のお客様にご来店いただいております。週末にはご来店をお待ち頂く程にまで成長しました。宝牧場の肉が、県内外のお客様に広く知られていることを実感でき、とても有難く感じています。体外受精卵移植への取り組みについても、経営面でもしっかり利益が出ており、収益の柱のひとつになっています。今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



宝牧場全景写真

今回は、ご多忙の中、繁殖部長である永吉さんにも取材前の事前調査にもご協力いただきました。重ね重ね、ありがとうございました。宝牧場様の今後益々のご活躍とご発展をお祈りいたします。

(家畜バイテクセンター神戸分室 栗山 真季)

卵通信ミニでは取材させていただける農家様を募集しております。

お近くの種雄牛センター職員へご一報いただければ幸いです。

